

くましんの現況

(2020年9月末現在)

半期情報の開示につきまして

平素より当金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
2020年度上半期（2020年4月1日～2020年9月30日）の当金庫の業績をお知らせいたしますので、
ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

（注）以下に掲載する計数は、仮決算に基づくものであり、監査法人の監査を受けたものではありません。

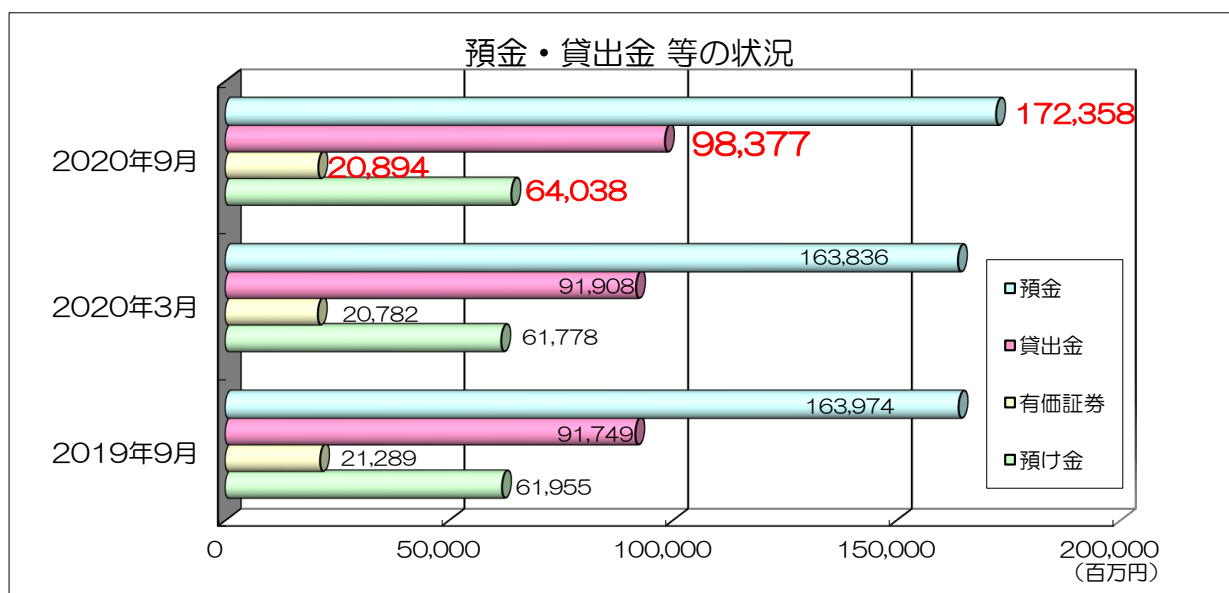
預金・貸出金等の状況（半期末残高）

預金は**85億円増加**（2020年3月末比）し、**1,723億円**となり、

貸出金は**64億円増加**（2020年3月末比）し、**983億円**となりました。

（単位：百万円）

	2019年9月	2020年3月	2020年9月
預 金	163,974	163,836	172,358
貸 出 金	91,749	91,908	98,377
有 価 証 券	21,289	20,782	20,894
預 け 金	61,955	61,778	64,038



収益の状況

本業の儲けを示すコア業務純益は、前年同期比で**6百万円増加**し、**2億40百万円**となりました。

経常利益は、前年同期比で**29百万円増加**し、**2億36百万円**となりました。

当期利益は、前年同期比で**2百万円減少**し、**1億67百万円**となりました。

（単位：百万円）

	2019年9月 (半期)	2020年3月 (通期)	2020年9月 (半期)
経 常 収 益	1,414	2,902	1,442
業 務 純 益	234	547	223
実 質 業 務 純 益	234	547	238
コ ア 業 務 純 益	234	547	240
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	—	510	240
経 常 利 益	206	525	236
当 期 純 利 益	170	386	167

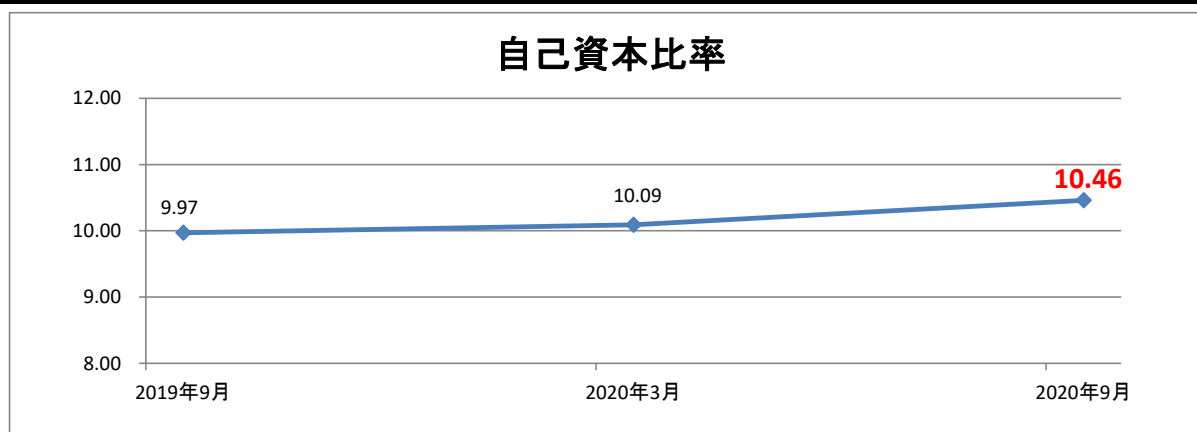
（注）コア業務純益（除く投資信託解約損益）は、2020年3月期より開示項目となっております。

単体自己資本比率（国内基準）

今仮決算における自己資本額は、内部留保の積み増し等により、**79億74百万円**となりました。

自己資本比率は国内基準の4.0%を上回る**10.46%**となっております。（単位：%、百万円）

（バーゼルⅢ）	2019年9月	2020年3月	2020年9月
自己資本比率	9.97 %	10.09 %	10.46 %
自己資本の額	7,725	7,828	7,974
コア資本に係る基礎項目	7,982	8,112	8,295
コア資本に係る調整項目	256	284	321
リスク・アセットの額	77,423	77,547	76,170
所要自己資本額	3,096	3,101	3,046



自己資本の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成26年3月期からバーゼルⅢ国内基準に基づく開示を行っております。

有価証券の時価情報

（単位：百万円）

その他目的 有価証券	2019年9月				2020年3月				2020年9月			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他目的合計	19,656	591	646	55	19,151	199	411	212	19,265	344	457	113
株式	380	154	154	—	314	108	109	0	336	129	133	3
債券	14,010	280	281	0	13,114	179	193	13	11,961	150	162	11
その他	5,265	155	209	54	5,721	△ 88	109	198	6,968	63	162	98

（注）1. 「時価」は期末日における市場価格等に基づいております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

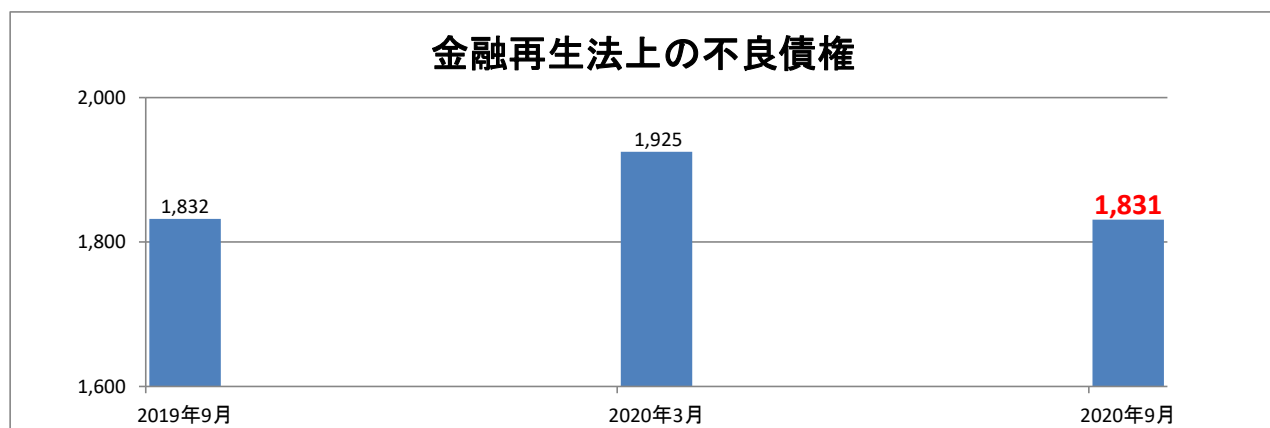
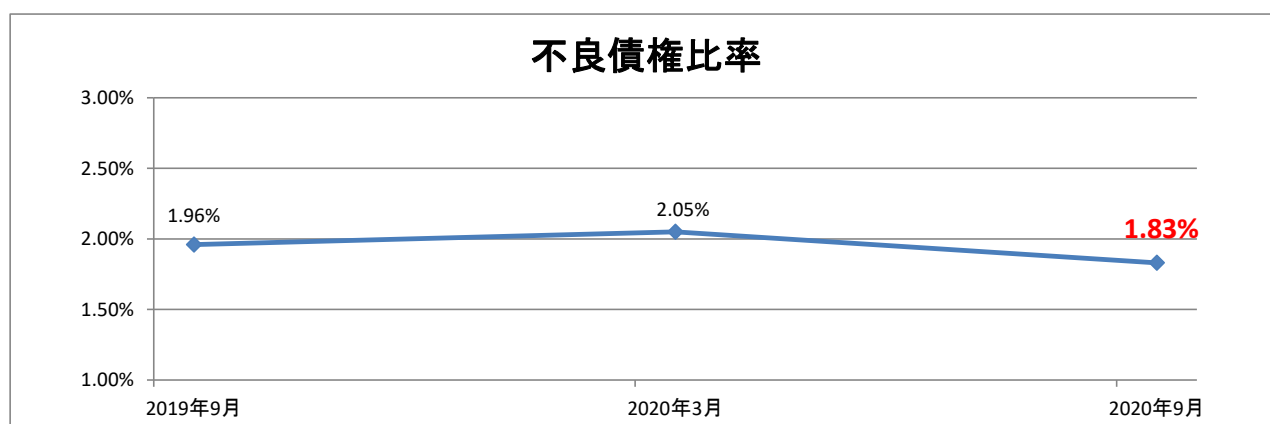
満期保有目的 債券	2019年9月				2020年3月				2020年9月			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的合計	1,749	116	116	—	1,720	89	89	—	1,702	73	73	—
子会社・関連会社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

金融再生法ベースの開示債権と保全の状況（単体）

金融再生法上の不良債権額は、2020年3月期に比べ**94百万円減少**し**18億31百万円**となり、不良債権比率は**1.83%**となりました。

（単位：％、百万円）

	2019年9月	2020年3月	2020年9月
金融再生法上の不良債権（A）	1,832	1,925	1,831
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	410	351	327
危険債権	1,422	1,573	1,503
要管理債権	0	0	0
正常債権（B）	91,534	91,554	97,988
合計額（C）=（A）+（B）	93,367	93,479	99,820
（不良債権比率）（A）/（C）	1.96 %	2.05 %	1.83 %
保全額（D）	1,538	1,643	1,579
貸倒引当金	268	277	267
担保・保証等	1,269	1,365	1,312
保全率（D）/（A）	83.93 %	85.33 %	86.25 %



貸出金の内訳（業種別）

（単位：百万円）

業 種 別 区 分 （日本標準産業分類改定後）	2019年9月 （仮決算償却後）	2020年3月 （償却後）	2020年9月 （仮決算償却後）
製 造 業	1,562	1,634	1,845
農 業、林 業	120	139	76
漁 業	7	9	8
鉱 業、採石業、砂利採取業	0	0	0
建 設 業	7,238	7,643	10,031
電 気・ガ ス・熱 供 給・水 道 業	239	238	239
情 報 通 信 業	152	180	268
運 輸 業、郵 便 業	711	750	980
卸 売 業・小 売 業	7,959	7,622	9,323
金 融 業、保 険 業	1,828	1,795	1,799
不 動 産 業	24,366	24,154	24,858
物 品 賃 貸 業	245	294	301
学 術 研 究、専 門・ 技 術 サ ー ビ ス 業	408	402	522
宿 泊 業	97	95	120
飲 食 業	2,005	2,377	2,904
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業、娯 楽 業	2,222	2,181	2,572
教 育、学 習 支 援 業	298	285	324
医 療・福 祉	891	952	1,112
そ の 他 の サ ー ビ ス	2,306	2,314	3,326
小 計	52,663	53,072	60,617
地 方 公 共 団 体	11,703	11,539	11,353
個 人（住 宅・消 費・納 税 資 金 等）	27,382	27,297	26,406
合 計	91,749	91,908	98,377

（注）業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

コロナ禍での対応状況

中国に端を発した新型コロナウイルス感染症は、今年1月に国内でも感染が確認され、以降、感染拡大、収束を繰り返しながら、いまだ完全には終息の兆しが見えず我が国経済に大きな打撃を与えています。県内でも複数のクラスターが発生するなど感染拡大は続いており、当金庫取引先においても、売上減少、コロナ対策費用の増加等、業況への影響が大きくなっております。そのような状況の中、当金庫としては、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、感染防止対策を徹底するとともに、取引先に対する円滑な資金供給や各種補助金情報の提供、売上増加・販路拡大策の相談など、今後も取引先に寄り添った支援を引き続き行って参ります。

感染症対策

感染拡大予防策として、出勤時の検温の実施、窓口へのアクリルボードの設置、消毒液の備置等を行っております。



取引先支援

取引先支援策として、新型コロナウイルス感染症対応資金を始めとする円滑な資金供給および柔軟な条件変更の実施、よろず支援拠点コーディネーターによる個別相談会の実施、GW期間中の「休日相談窓口」の設置、渉外担当者による各種補助金の紹介等、様々な取り組みを行っております。

《新型コロナ関連相談を含む2020年度上期のよろず支援拠点経営相談会の取組み状況》

2020年4月3日(第251回)から2020年9月28日(第275回)までの実施回数25回

相談企業者数: 15企業者(2020年度 新規相談企業者のみの累計)

場 所: くましんビジネスサポートプラザ(BSP)

開催日: 毎月4回 1日5件迄

時 間: 1時間30分個別相談

講 師: 栗田博成氏(熊本県よろず支援拠点コーディネーター)

また、取引先の資金繰り支援は勿論のこと、新しく有益な情報提供や提案を取引先に適時適切に提供することも重要であると考え、渉外担当者のスキルアップを図るため、外部講師等による研修も適宜実施しております。



コロナに負けるな!「今できること」と「コロナ収束後にやるべきこと」を考えよう!

「小規模事業者持続化補助金」活用 コロナ収束後スタートダッシュ 売上UP個別相談会 先着5名 相談無料

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほとんどの業種の中・小規模事業者(個人事業主)の経営に大きな影響を与えています。「緊急時対応策」だけでなく、資金を止める、また「融資枠」-「融資枠」まで貸付枠を最大化させることが急務です。しかし、コロナウイルスが収束し、自業ムードが回復された後、スタートダッシュで売上をUPし、継続した安定経営を図るため「小規模事業者持続化補助金」を活用して販売促進に参りましょう。「今できること」と「コロナ収束後にやるべきこと」の相談会を開催します。先着5名限定とさせていただきます。

対象となる販促ツール、他	小規模事業者持続化補助金について
① 名刺、チラシ、カタログ、会社案内等印刷物	① 小規模事業者の定義
② プランディングを伴う商品パッケージ開発	● 事業: サービス業(飲食業・接客業を除く) 従業員数: 5人以下 ● 業種: サービス業(飲食業・接客業を除く) 従業員数: 20人以下 ● 従業員: その他……………従業員数: 20人以下
③ メニューブック、看板の製作	② 補助金額・補助率
④ WEBサイト(企業サイト・通販サイト)構築	補助上限50万円・補助率2/3
⑤ 商品ラッピング・ペーパー製作	③ 申請申請期間
(リスティング広告含む)	● 申請期間: 2020.3.31(第7) 事業計画書: 2020.6.5
⑥ 企業プロモーション動画製作	● 申請期間: 2020.10.2 事業計画書: 2021.1.25
⑦ 販路強化社員研修	● 申請期間: 2020.3.31(第7) 事業計画書: 2020.6.5
⑧ その他(その他)……………	● 申請期間: 2020.10.2 事業計画書: 2021.1.25

※その他のツールについてもご相談いたします。

事前予約制

日時: 2020年4月23日(木)・28日(火)
9:00/10:30/13:00/14:30/16:00の5時

場所: くましんビジネスサポートプラザ 経営相談室
熊本県中津市幸町2-2 熊本県産業振興局 経営相談室(熊本県中津市幸町2-2)の2階

定員: 各5名(先着順です。定員に達した場合は、抽選となります)

参加費: 無料

対象となる: 中小企業・小規模事業者、個人事業主

FAX送付先: 熊本信用金庫 FAX.096-322-7219

講師プロフィール: 栗田博成 中津市 熊本県よろず支援拠点 コーディネーター 株式会社キュービクス 代表取締役

マスクプロジェクトへの参加

「副業でみんながつつながら熊本産マスクプロジェクト(注)」に参加し、介護施設等に手作りマスクを配布致しました。
(注)プロジェクト概要: 新型コロナウイルス感染症問題により収入減等の影響を受けている熊本県民の皆様が手作りしたマスクを主催者である「熊本地域金融・経済懇話会」が買い取り、熊本県内の事業者・団体や個人に無料で配布するプロジェクト。当金庫はこのプロジェクトに賛同し、実施主体としてマスクの買い取り、配付に協力しました。

